

経営比較分析表（令和4年度決算）

神奈川県相模原市 小田急相模原駅自動車駐車場

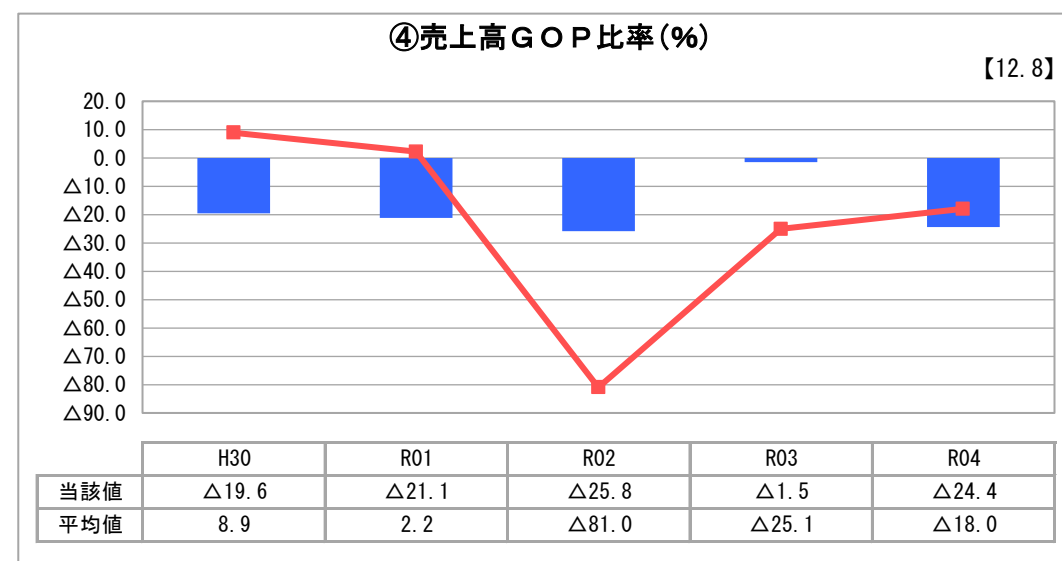
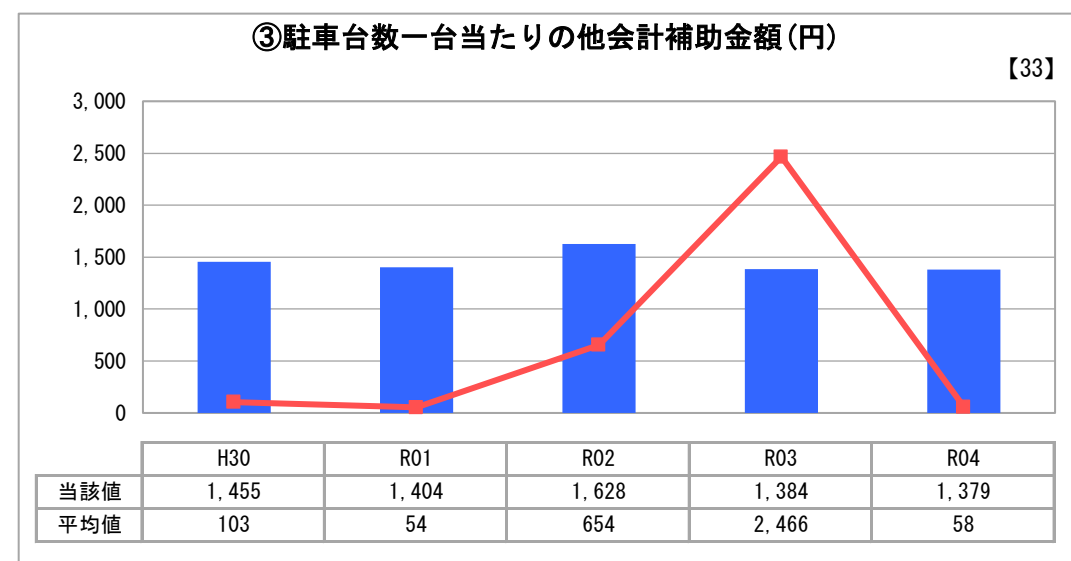
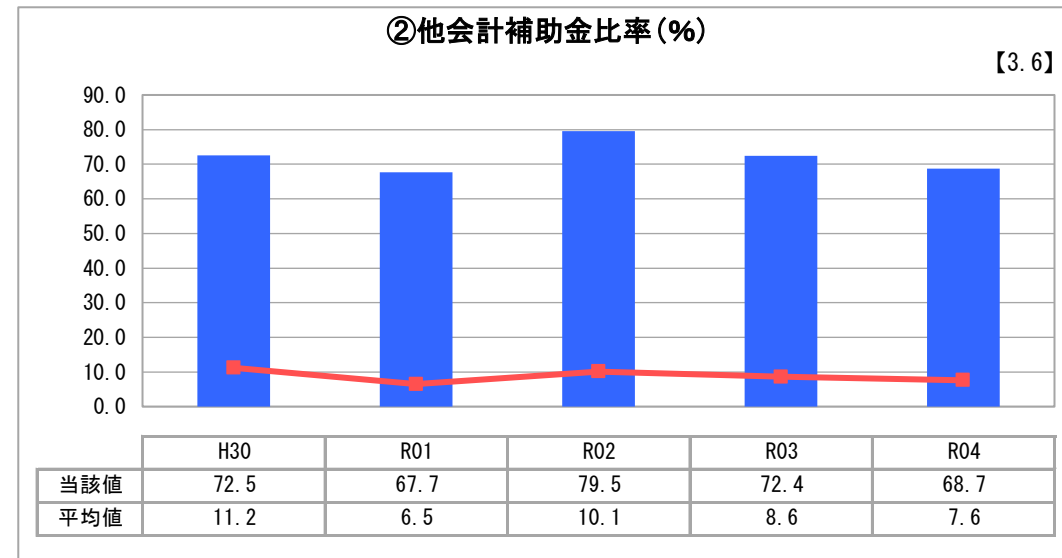
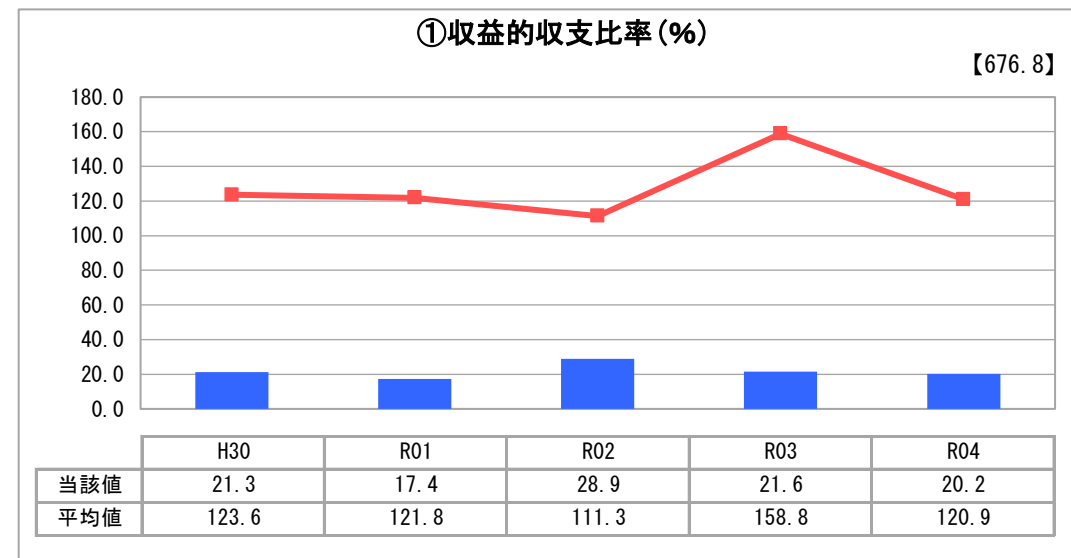
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	地下式	16	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	7,586
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
136	300	代行制

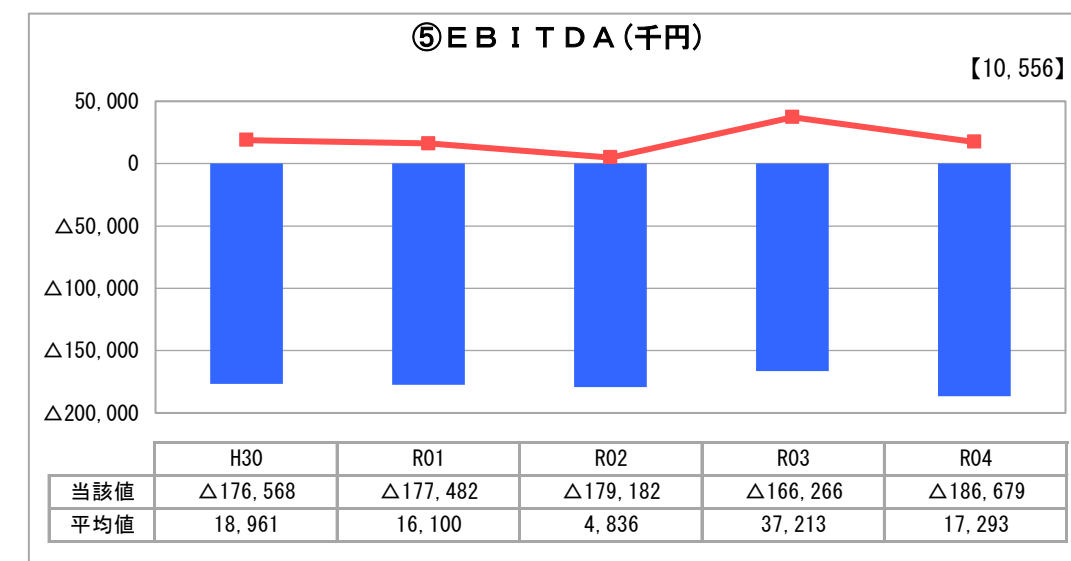
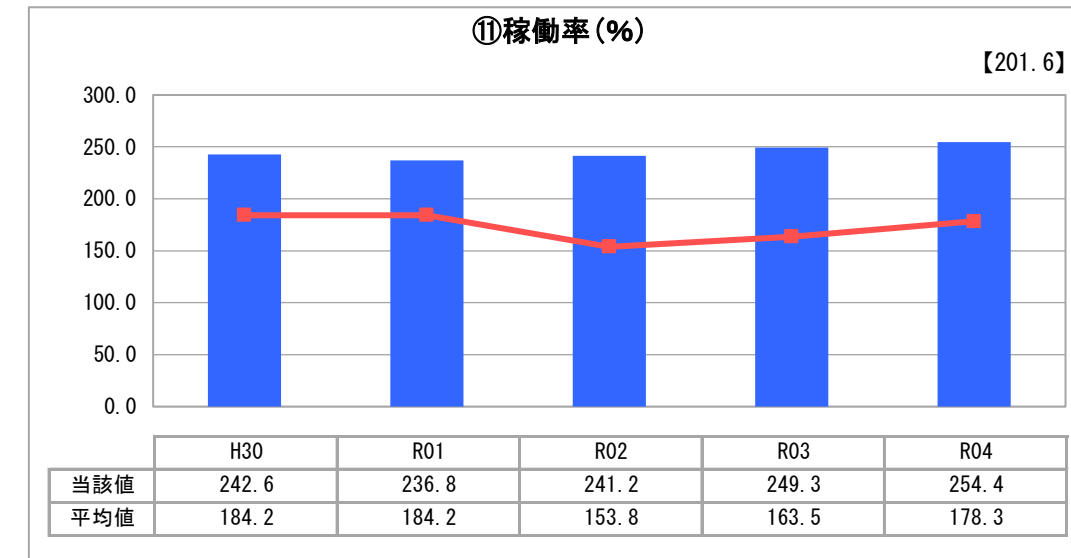
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

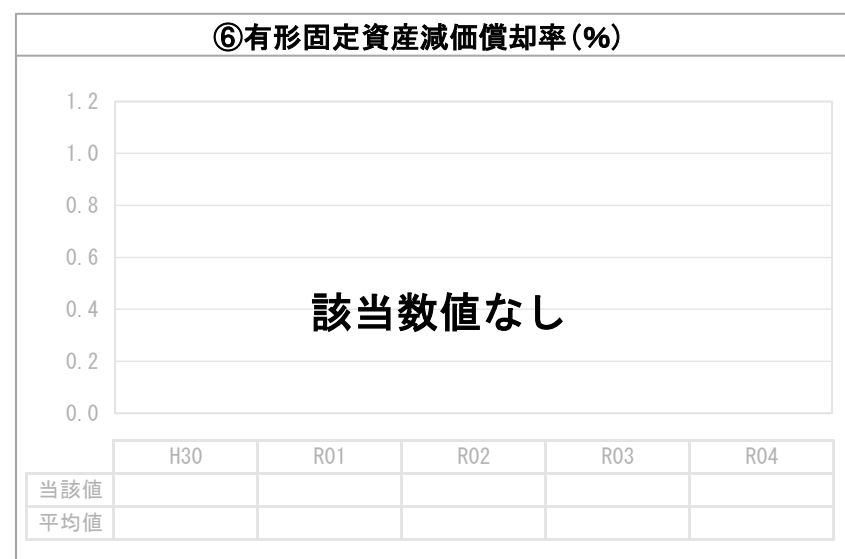
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

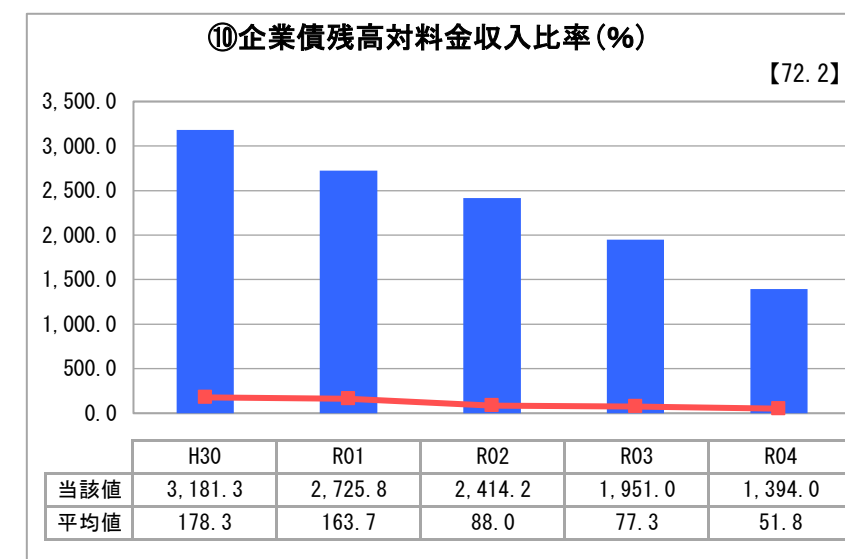
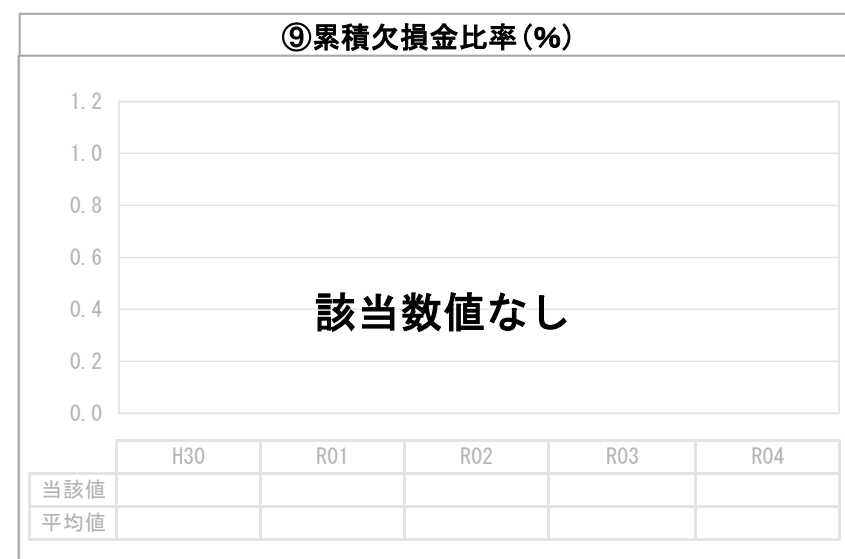


⑦ 敷地の地価(千円)

0

⑧ 設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 駐車場の料金収入等で支出をどの程度賅えているかを示す収益的収支比率(%)は20%前後で、大きく赤字となっています。他会計補助金比率及び駐車台数一台当たりの他会計補助金額は平均よりも高く、繰入金等への依存度が高いことを示しています。売上高GOP比率及びEBITDAは平均よりも低く、経営改善に向けた取組みが必要であることを示しています。

2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は令和9年に完了する予定です。住宅・商業施設との複合施設のため、令和4年度から5年度にかけて管理組合が実施している大規模修繕の負担金のほか、今後は令和5年1月に策定した駐車場ビジョンに基づき駐車場が単独で所有しているITV設備の改修等の設備投資を見込む必要があります。

3. 利用の状況について
 平均値よりも稼働率は高く、需要の高い駐車場であるといえます。定期駐車の高割合、新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年度もほぼ影響を受けませんでした。定期駐車の高割合に伴い、稼働率は増加傾向にあります。

全体総括

本駐車場は、平成19年12月から供用を開始した、市の開発に伴い設置した駐車場です。市施設・商業施設・住宅がある複合建築物の地下部分を占めていることから、今後も駐車場として存続させる必要があると考えています。ただし、収益等の状況を鑑み、運営方法等については検討をしていきます。